



5月度の  
の御書

## ひとえしょう 「単衣抄」

意味  
にちれん  
日蓮がいなければ、  
仏の言葉は、もはや、  
とだえてしまったこ  
とでしよう。

(御書新版1849ページ 御書全集1514ページ)

御文  
にちれん  
日蓮なくば、  
既に絶えなん。  
仏語

### そう か がっかい ほとけ こと ば じつげん 創価学会が「仏の言葉」を実現

やあ、ボクはライオン博士のキング君。みんな新しい学年には慣れたかな？ ボクは朝夕の勤行に挑戦して、毎日のいいリズムになっているよ！

ところで、勤行で読んでいる「法華経」には、何が書いてあるか知っているかな？ それはね、「仏の言葉」なんだ。

例えば勤行は「まいじさせねん……そくじょうじゅぶつしん」の言葉で終わるよね。この一文は、「どうしたら、みんなが最高の人生を歩んでいけるか、いつも考え続けています」という意味なんだ。

このように「法華経」には、全ての人の幸せを願う仏の思いが説かれているよ。でもね、「法華経」をひろめれば、悪口や迫害を受けることになるだろう、とも書かれているんだ。なんだかこわいよね。でも日蓮大聖人は、仏が願った“全ての人の幸せ”を自分のちかいに立ち上がった。そして「仏の言葉」の通り、国中の人からせめられたんだ。

どうして大聖人は傷つけられたんだろう？ それは当時の人は希望を持ってなくて、自分の力で幸せになれると信じられず、大聖人がうそつきだと思いこんでしまったからなんだ。

それでも大聖人は負けなかった。一人一人と対話したり、お手紙を送ったりして、みんなに無限の希望があることを伝え、それを引き出す「南無妙法蓮華経」のお題目を教えていったんだ。

そして今！ 世界中に「南無妙法蓮華経」のお題目を唱える創価ファミリーがいる！ 世界平和を願って行動する、仏と同じ「ちかい」を持つ人たちだよ。

こうして「仏の言葉」が真実になったのは、大聖人のちかいのバトンを受けついで、牧口先生、戸田先生、池田先生の行動があったから。創価の三代会長も大聖人と同じように、難に負けることなく一人一人をはげましてきたんだ。

池田先生は語られているよ。  
「人々の幸福のために、より良き社会のためにと動き、尽くし抜いている、皆さんのお父さんや、お母さん、おじいさんや、おばあさん、皆さんを支えてくれる学会のおじさん、おばさん、お兄さん、お姉さんは、一番、偉大な人たちであると、私は断言したいのです」

この世界平和へのバトンを、ボクたちが元気いっぱい未来に受けついでいこう！